

# 令和6年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価 令和7年1月27日実施

## ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

## ◆事業所自己評価

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表										
法人名	株式会社ケア・フレンズ	代表者	脇屋 智樹	法人・事業所の特徴	経営理念『年をとっても、障害をもっても、自分の望む場所で自分らしく生き続けていきたい。そんな想いを受け止めてくれる「優しい街」づくりに少しでも貢献していきたいと考えています。』 サービス付高齢者住宅の1階に事業所を置き、ご支援しております。					
事業所名	よりそいの家・よかつたね	管理者	岩崎 純一							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
			2人			1人		2人		5人
項目	前回の改善計画		前回の改善計画に対する取組み・結果			意見		今回の改善計画		
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価の改善計画について、事業所の運営会議等で話し合う機会を設ける。</li> <li>改善計画の一覧票を作成し、進捗確認等振り返りを定期的に行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の運営会議等で改善計画を話し合うまでには至らなかった。</li> <li>改善計画の一覧票を作成したが、振り返りなどにあまり活用できなかつた。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>一覧表を運営推進会議でも配れるとよかつた。</li> <li>また、具体的な取り組みが分からなかつた。</li> <li>「できていない」を振り返り、必要ならば改善に向けた取り組みができるとよい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>改善計画を事業所内、運営推進会議内で周知する。</li> <li>改善計画の中から優先順位を決めて振り返りを行う。</li> </ul>		
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者や家族、外部の方が心地よいと感じる環境づくり（整理整頓、清潔感、季節感や雰囲気等）を職員全員が意識して取り組む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>整理整頓等は職員全員が意識して取り組むことができたが、飾りつけや制作物に関しては担当者にお任せになりがちだった。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>季節感が伝わる取り組みが出来ており、意識もされている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者や家族、外部の方が心地よいと感じる環境づくり（整理整頓、清潔感、季節感や雰囲気等）を職員全員が意識して取り組む。 ※前回同様</li> </ul>		

C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちから率先して、利用者はもちろんそのご家族、職員、外部の方にあいさつしていく。また、あいさつの重要性を伝えて実行していく。</li> <li>接遇面の振り返りや他者のいいところ探しをする機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者、そのご家族、職員、外部の方にあいさつできていたが、あいさつの重要性についての発信は少なかった。</li> <li>接遇面の振り返りや他者のいいところ探しをする機会は設定できなかつたが、接遇に関するスローガン「人と心に寄り添い」を掲げることはできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所は近隣の方にまだまだ認知されていない。</li> <li>事業所についての情報発信の仕方に工夫が必要。</li> <li>口コミで広がるとよい。</li> <li>文化祭への参加（パネル展示）ができるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちから率先して、利用者はもちろんそのご家族、職員、地域の方にあいさつしていく。</li> <li>地域での認知度が少しでも上がるよう情報発信の仕方を検討していく。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が地域へ出していく機会（ドライブやなじみの場所への訪問、地域行事への参加等）を設けていく。</li> <li>納涼祭等の際に介護相談窓口を設け、介護相談ができるることを示していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のお祭りに参加することはできたが、その他は人員的にも難しかつた。</li> <li>納涼祭に介護相談窓口は設置しなかつたが、相談にお答えすることはできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアの方の活用ができるとよい。</li> <li>利用者やその家族が「閉じ込められている」「管理されている」と感じる事のないよう接遇面に工夫が必要。</li> <li>アンケートの実施ができるとよいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が地域へ出していく機会（ドライブやなじみの場所への訪問、地域行事への参加等）を設けていく。</li> <li>地域に出向けない方にも楽しみ（嗜好品の提供等）を通して、地域との関わりを少しでも感じていただく。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議の際に活動写真を用いて、活動報告を行っていく。</li> <li>レクリエーションに合わせて会議ができないか検討する。</li> <li>世間話でも地域の話ができるように心掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動写真を活用し、活動報告をすることができた。</li> <li>会議は定期的でレクリエーションとの調整には至らなかつた。</li> <li>地域の話や詐欺の話など話をすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源の掘り起こしが必要。</li> <li>地域との関りについて、一部の職員だけでなく、全員で地域と関わる意識を高めるのも必要。</li> <li>利用者と関わる中で「楽しく働く」「やりがいを持って働く」事が大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議の際に活動写真を用いて、活動報告を行っていく。</li> <li>利用者個別の取り組みについて、その経緯や利用者の意向、具体的な取り組み状況等を会議の場で説明する。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災時の様々な場面を想定して話し合う機会を設ける。</li> <li>事業継続のための計画について、マンション管理会社や運営推進会議の場で共有する機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の連絡訓練等実施することができた。</li> <li>事業継続のための計画について、共有するまでには至らなかつた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災した際、まずは自分の命、次に家族、それから周りの命が大事。</li> <li>被災した際の受け入れや自分で動けない方への対応について、事前に想定できるとよい。</li> <li>正しい情報を一か所に集約できるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災時の様々な場面を想定して話し合う機会を設け、被災時等の簡易的な行動マニュアルの作成に取り組む。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (19:30~23:00)
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	常勤職員 5人 非常勤職員 5人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人		1人	9人

前回の改善計画
・ご本人やご家族のニーズを聞き、ご利用者の必要な支援を事業所全体で共有する。 ・相手を知るために、みんなが新規の方に積極的に関わり、生活に対する本人の想いやこだわり等を具体的に記録として残し、記録を確認する事で共有し、サービスの提供を柔軟に変えていくよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3人	6人		1人	10人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができますか？	1人	7人	1人	1人	10人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができますか？	2人	6人	1人	1人	10人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		8人	1人	1人	10人

できている点
利用者のニーズを事業所内で共有し、利用開始後も日々の変化に気づけるよう積極的な関わりを意識して対応できた。フェイスシート等で情報を確認し、何かあれば記録に残し、報告・共有することができた。ミーティングで情報の確認や改善点を相談し、適切なサービス変更にも迅速に対応できた。

できていない点
全ての家族と関わることができておらず、本人や家族の想いに沿った支援が不足している部分がある。 本人の想いと家族の想いに違いがあった場合に、両者の想いに添った対応をすることが出来ていないところもあった。 本人のニーズを全て受け入れることができなかった。

次回までの具体的な改善計画
・ご本人やご家族のニーズを聞き、ご利用者の必要な支援をミーティング内で検討し、共有する。 ・相手を知るために、みんなが新規の方に積極的に関わり、生活に対する本人の想いやこだわり等を具体的に記録として残し、記録を確認する事で共有し、サービスの提供を柔軟に変えていくよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (19:30~23:00)
------------------	-----	-----------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	常勤職員 5人	非常勤職員 5人	計10人
---------------------------	------	---------	----------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		7人	2人		9人

前回の改善計画
・事業所のミーティングを通して、現状の話だけでなく、「目標（課題や問題点等含む）は何か」も設定していく。 ・定期的なミーティングで支援内容を振り返り、議事録の回覧で情報共有に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		3人	6人	1人	10人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		4人	6人		10人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができますか？		4人	6人		10人
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1人	5人	2人	2人	10人

できている点
支援内容の振り返りや課題の共有をミーティングで行い、利用者の「～したい」を実現するための支援ができた。利用者の状態や希望に応じたその方らしい生活を考えながら支援ができた。ミーティングで改善策を検討し議事録で共有できた。

できていない点
支援内容の振り返りや課題の共有をミーティングで行い、利用者の「～したい」を実現するための支援ができた。利用者の状態や希望に応じたその方らしい生活を考えながら支援ができた。ミーティングで改善策を検討し議事録で共有できた。

次回までの具体的な改善計画
・事業所のミーティングを通して、目先の話だけでなく、「目標（課題や問題点等含む）は何か」も共有していく。 ・定期的なミーティングで支援内容を振り返り、議事録の回覧で情報共有に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (19:30~23:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	常勤職員 5人 非常勤職員 5人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人	6人		1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な介護や支援の方向性について、ミーティング等で具体的に決まった内容を職員一人一人が「知る」よう努める。</li> <li>・共有された本人の気持ちや体調によりそいながら日常生活の中で、本人の「できる」ことを探り、理解するよう努める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な介護や支援の方向性について、議事録や職員連絡ノートを活用し、共有に努めた。</li> <li>・本人の「できる」ことを探り、理解するよう努めていたが、事業所主体になってしまったこともあった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3人	5人	2人	10人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか？	4人	5人		1人	10人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか？		4人	4人	2人	10人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3人	6人	1人		10人
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できますか？	1人	8人	1人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
議事録やミーティングで得た情報を把握し、利用者様の「できる・できない」や興味に合わせた支援を行うことができた。その日の体調や気分に応じた柔軟な対応ができた。ミーティングでケア方法を話し合い、実践することができた。壁面制作や貼り絵、おやつ作りなど、利用者一人一人のできる事を探りながら、一緒に作ることができた。本人の気持ちを表情や言葉で探ることができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方を把握しきれていない。「〇〇ではないか？」と考えるも即時に支援できないことがあった。（食事・トイレ頻回・夜間帯）認知力や筋力等の変化に合わせた適切な介助法や関わり方が十分できていない。	

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な介護や支援の方向性について、ミーティング等で具体的に決まった内容を職員一人一人が「知る」よう努める。</li> <li>・共有された本人の気持ちや体調によりそいながら本人の「できる」ことを探り、日常生活の中で活かせるように支援する。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 24日 (19:30~23:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	常勤職員 5人 非常勤職員 5人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		5人	3人	1人	9人

前回の改善計画
・ご本人と家族との関係を大切にし、事業所が「架け橋」になれるように状況報告や感染症に配慮した面会の支援をする。 ・マンション生活で関わる地域の方とご本人中心に関わっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		5人	3人	2人	10人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		7人	2人	1人	10人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		4人	4人	2人	10人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2人	5人	3人	10人

できている点
・利用者本人の意向を尊重し、外部サービスの調整(介護タクシーの利用等)を行い、余暇活動への参加を支援する事ができた。 ・感染症対策の緩和により、面会や地域交流の場が設けられ、家族や知人とゆったり過ごすことができた。 ・事業所が「架け橋」になるべく、ご利用者の普段の様子や生活の必要事項を電話やメールで報告したり、県外や海外在住の家族には画像付きで日常の様子を伝えることができた。

できていない点
・本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握できていない。 ・ご利用者のADLの低下や生活がマンション内で完結してしまっていることで、地域交流ができていない。 ・推進会議以外での民生委員との関係構築が出来ておらず、緊急時・災害時の支援の連携や地域交流の連携に向けた取り組みができていない。

次回までの具体的な改善計画
・ご本人と家族との関係を大切にし、事業所が「架け橋」になれるように状況報告や感染症に配慮した面会の支援をする。 ・地域との緊急時・災害時の支援の連携について話す機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 24日 (19:30~23:00)
------------------	-----	-----------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	常勤職員 5人	非常勤職員 5人	計10人
----------------	------	---------	----------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		7人	1人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アイメッセージで伝えること」「他の方の意見を聞くこと」を意識し、チームケアに活かすことでチームとして柔軟な支援ができるよう努める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ある程度できたが、「アイメッセージで伝えること」「他の方の意見を聞くこと」の意識づけ、仕組みづくりなど働きかけは不十分だった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		4人	2人	4人	10人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4人	4人	1人	1人	10人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4人	5人		1人	10人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	3人	6人		1人	10人

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の体調や要望に応じた柔軟な支援を心がけ、変化に応じた対応策をスタッフ間で共有・相談できた。</li> <li>決められたルールに囚われず、個人やチームで状況に応じた判断を行い、体調やタイミングに合わせたケアを提供できた。</li> <li>ミーティングや日々のケアで他のスタッフの意見を聞き合い、「私は○○している」と具体的に共有する意識を持てた。</li> <li>買い物支援やレクリエーション活動は、利用者の希望に応え支援できた。</li> </ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者本人の必要としている地域資源を把握できていないことで、適切な地域資源を活用した支援に差がでている。</li> <li>外出やレクリエーション活動が困難な場面があり、事業所内での活動に限られることがあった。</li> <li>利用者の変化について話し合うが、意見の集約や決定に時間がかかることがあり、ケアの変更に対して迅速な対応・共有が行えないことがあった。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>「他の方の意見を聞くこと」を意識し、チームケアに活かすことでチームとして柔軟な支援ができるよう努める。</li> <li>チームで迅速に情報共有できるよう、情報共有のツール・ルールを分かりやすいものにする。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 24日 (19:30~23:00)
------------------	-----	-----------------------------

6. 連携・協働	メンバー	常勤職員 5人	非常勤職員 5人	計10人
----------	------	---------	----------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		5人	3人	1人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス機関やマンション管理会社との会議に複数名で参加できるよう努める。</li> <li>連携や協働した会議やイベントの内容を文章や写真で事業所全体で共有する。担当者任せにしない。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンション管理会社との会議に複数名で参加できたが、サービス機関とは人員的に難しかった。</li> <li>連携や協働した会議やイベントの内容はある程度事業所全体で共有できたが、担当者へ負担が偏ってしまった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人	3人	1人	5人	10人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2人	1人	2人	5人	10人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1人		3人	6人	10人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2人	3人	5人	10人

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>納涼祭や地域の祭りを通じ、地域との関わりを深めることができた。</li> <li>マンション管理会社との協働イベントでは複数回の会議を開催し、議事録を活用して事業所全体で内容を共有できた。</li> <li>散髪やお楽しみメニューの段取りを文章で共有し、業務を円滑に進めることができた。</li> <li>サービス機関とも電話や口頭で連携を図り、外部との関わりを持つことができた。</li> </ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント準備や会議への複数名の参加が難しく、負担が特定の担当者に偏てしまっている。</li> <li>事業所外の地域活動や自治会イベントへの参加ができていない。</li> <li>地域住民や子どもたちが普段事業所を訪れるることは少なく、地域との交流が限られたのである。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス機関やマンション管理会社との会議に複数名で参加できるよう努める。</li> <li>連携や協働した会議やイベントの内容を文章や写真で事業所全体で共有する。担当者任せにせず、役割分担できるよう努める。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 24日 (19:30~23:00)
------------------	-----	-----------------------------

7. 運営	メンバー	常勤職員 5人	非常勤職員 5人	計10人
-------	------	---------	----------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人	1人	4人	2人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が運営推進会議に参加していただけるように相談や依頼をしていく。</li> <li>・運営推進会議の報告書を変更し、事業所でも共有しやすいものにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の方が運営推進会議に参加くださる状況は継続できた。</li> <li>・運営推進会議の報告書は変更できなかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1人	3人	4人	2人	10人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	6人	2人	1人	10人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	2人	3人	4人	10人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1人	1人	3人	5人	10人

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議は日程の調整にて必要なメンバーが参加する中での開催が継続できており、いただいた意見を反映した活動ができている。</li> <li>・納涼祭の開催を通じ、ご家族や地域の方に活動の様子や施設を知ってもらう機会をもつことができた。</li> <li>・利用者様やご家族、職員からの意見を管理者(ケアマネ)を含めたミーティングや運営対策会議等を用い協議することで、活動へ反映させることができた。</li> </ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議やイベント以外で地域と協働する機会を設けることができず、地域の方々からの意見や苦情を聞くことができなかった。</li> <li>・運営推進会議の内容を周知、共有するための報告書の変更ができなかった。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の運営推進会議へ継続して参加していただけるよう相談や依頼を続けていく。</li> <li>・運営推進会議の伝達方法や報告書を変更し、事業所内でも共有しやすいようにする。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (19:30~23:00)
------------------	-----	-----------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	常勤職員 5人	非常勤職員 5人	計10人
-----------------	------	---------	----------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか？	2人	4人	2人	1人	9人

前回の改善計画
・事故、ヒヤリハット（現場での気付き）について、ミーティング等で振り返り（対策はどうだったか等）をする。 ・外部研修の案内を回覧し、参加できる環境を整える。 ・内部、外部研修について、伝達講習を事業所の会議等で行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
・事故、ヒヤリハット（現場での気付き）について、ミーティングで振り返りできた。 ・外部研修の案内を回覧はできたが、参加は少なかった。 ・内部、外部研修について、伝達講習を事業所の会議等で一部行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	5人	1人	3人	10人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1人	2人	7人	10人
③ 地域連絡会に参加していますか	1人	1人	1人	7人	10人
④ リスクマネジメントに取組んでいますか	2人	6人	1人	1人	10人

できている点
事故やヒヤリハットについては、毎回のミーティングで振り返りと対策を話し合い、議事録を確認して実践することができた。会社内の研修動画や資料を活用し、各自が学び、事故防止に努めた。委員会を通じて質の向上を目指し、事故やヒヤリハットの改善に努めている。

できていない点
外部研修への参加は部分的であり、一部しか参加できていない。同じようなヒヤリハット（現場での気付き）が繰り返し発生しており、対策が不十分なこともあった。

次回までの具体的な改善計画
・事故、ヒヤリハット（現場での気付き）について、ミーティング等で振り返り（対策はどうだったか等）を継続する。 ・個人のスキルアップ、事業所のブラッシュアップを目指し、外部研修の情報を提供する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 16日 (19:30~23:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	常勤職員 5人 非常勤職員 5人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		5人	2人	2人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー、個人情報の管理について定期的に振り返りをする事で、再確認する。</li> <li>・ケアの場面（特にスピーチロックについて）を振り返る機会を設ける。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー、個人情報の管理について定期的に振り返りをすることはできた。</li> <li>・ケアの場面（特にスピーチロックについて）を振り返る機会は、身体拘束に関する会議で一部できた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	4人	4人	1人	1人	10人
② 虐待は行われていない	6人	3人		1人	10人
③ プライバシーが守られている	2人	5人	1人	2人	10人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2人	5人	1人	2人	10人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	3人	5人		2人	10人

できている点	<p>個人情報の管理について、委員会で定められたルールを守り、スマートフォン内の写真は会社のタブレットに移した後削除できた。利用者のプライバシーを守るために、部屋番号で呼び、訪問看護からの報告や排泄状況は小声で話すようにしている。委員会やミーティングを通じてプライバシーへの配慮や個人情報の取り扱いを再確認し、定期的な振り返りを行っている。また、ポスター掲示などで意識を高め、日々のケアに努めている。</p>
--------	--

できていない点	<p>スピーチロックについて、時間や気持ちに余裕がない時に出てしまうことがあります。また、身体拘束は行っていませんが、問題行動のある利用者に対して抑制的な対応を取ってしまっていたことがあります。対策を講じるべきです。個人情報の管理についても、情報共有時に配慮が不足している場面がありました。適切なケアが行われていない場合は、互いに指摘し合うことができなかった。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシー、個人情報の管理について定期的に振り返りをする事で、再確認する。</li> <li>・ケアの場面（特にスピーチロックについて）を振り返り、具体的な改善策を検討する機会を設ける。</li> </ul>
---------------	---